

弁当開いでみだつけが、弁当空っぽだった。

「何だこれえ、婆さままあ弁当さ飯入つちよごさながったのがまあ、んー」
なんて言つて、腹減らして家つあ帰つてきたと。して、

「何だ、弁当空だったぞ、空弁当持たせでだってしょうがあつかあ」
と言つて怒つただと。

「あら、おら入つちやつただがらあ」

「空っぽだったぞお」

つて、そんなごと言つて次の日んなつただと。

ほんじえまだ次の日弁当詰めでもらつて、お爺ちや山さ柴刈りに出がげだだど。まだ同じ木の枝さひっかげで仕事してで、昼飯になつたがらんじや飯食うがど思つて弁当開いでみだつけ、まだ空っぽななど。

「おがしなあ、今日間違いなぐ弁当さ飯入つちきたただげんじよなあ」